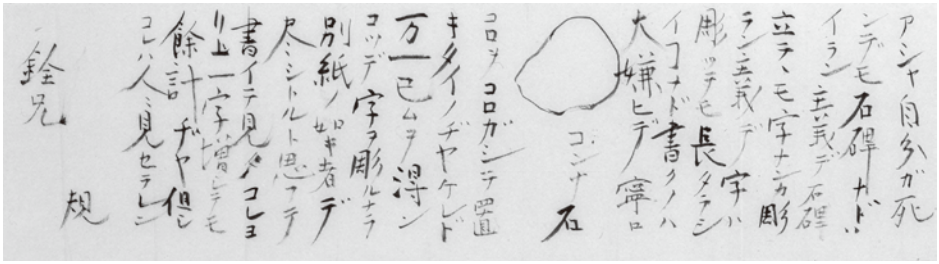
平成27年度冬季特別展

子規からの手紙 -躍動することば-

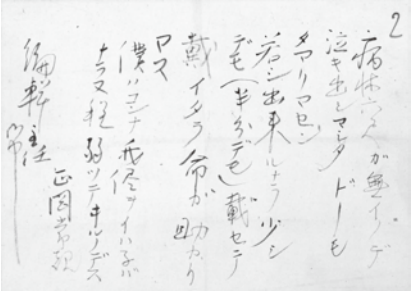
子規は三十四歳十一ヶ月という短い生涯の中で、数多くの手紙を書きました。現在確認されているだけで、その数は一〇〇〇通以上に及びます。

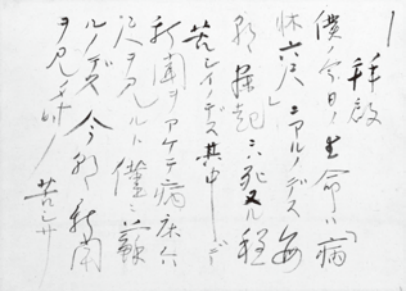
子規が手紙を書く目的やその内容は、実に様々でした。子規は学生生活や新聞社への入社、日清戦争への従軍といった人生の様々な局面で、自身の状況を周囲に伝える手紙を書いています。また、子規が文学革新を進めてゆく上でも、手紙が重要な通信手段だったことは言うまでもありません。これらの手紙の中で、子規は自分自身の抱負や信念を毅然（きぜん）と表明し、情熱に満ちたことばを相手に投げかけました。一方で彼は、親族や友人にあてて、日常生活や病状などを伝える手紙もしたためており、ユーモアや親愛の情に溢れたことばの数々は、難病（結核）と闘いながら一日一日を大切に生きた、等身大の子規の姿を伝えています。

当館では、少年時代から最晩年に至るまで、多数の子規自筆の手紙を収蔵しています。今回の特別展では、子規が手紙にのこした平明で力強いことばの数々に注目しながら、これらの手紙やその関連資料を一堂に展示し、子規を動かし続けた情熱や、周囲の人々との温かな絆、また子規の美しい筆跡の魅力などを紹介します。



（上）子規の河東銓あて書簡　明治 31 年 7 月 13 日
「アシャ自分ガ死ンデモ石碑ナドハイラン主義デ、
石碑立テヽモ字ナンカ彫ラン主義デ…」
（左）子規の下村為山あて書簡　明治 32 年 8 月 21 日（鉢植南瓜図）
「画ハマヅイガザットコンナカッコーデス。ハヽヽヽヽヽヽヽ」





子規の古島一雄あて書簡　明治 35 年 5 月 20 日ごろ
「僕ノ今日ノ生命ハ『病牀六尺』ニアルノデス」

「手紙」にちなんだイベント

ギャラリートーク

特別展の担当学芸員が、
展示の見どころを
解説します

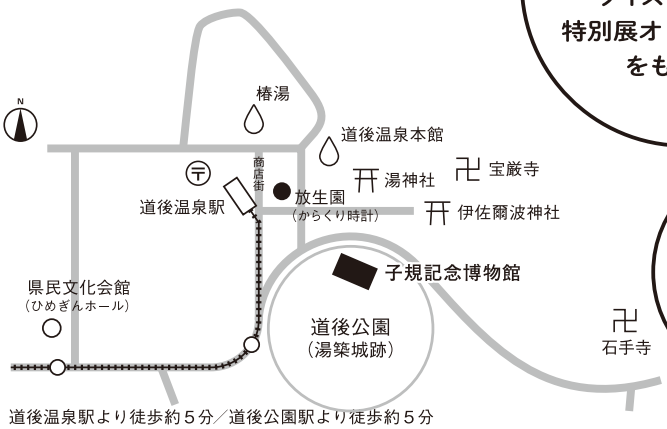
平成 27 年
12 月 27 日（日）
・
平成 28 年
1 月 10（日）・24 日（日）
※いずれも
午前 10 時 30 分から
50 分程度
※聴講にあたっては
特別展の観覧券が必要

クイズに挑戦！

展示に関する
クイズに答えて、
特別展オリジナル葉書
をもらおう

オリジナルグッズが当たる！

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、
「手紙」にちなんだ当館オリジナルグッズが
当たります



道後温泉駅より徒歩約５分／道後公園駅より徒歩約５分
※公共の交通機関をなるべくご利用ください

松山市立子規記念博物館

指定管理者：株式会社レスパスコーポレーション　http://sikihaku.lesp.co.jp/
〒790-0857　松山市道後公園 1-30　電話 089-931-5566　FAX 089-934-3416